

# 指定管理者実績評価表（平成23年度実績）

社会教育課

<b>施設名</b>	習志野市生涯学習地区センターゆうゆう館
<b>指定管理者</b>	習志野市生涯学習地区センターゆうゆう館運営委員会
<b>指定期間</b>	H21. 4. 1～H24. 3. 31

評価（特記事項）	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の管理について、点検票を作成し、適切に管理しているとともに、緊急事態への対応策として、緊急連絡網及び緊急時の対応マニュアルを作成し、年2回の防災訓練を実施している。</li> <li>・各運営委員が持ち寄った地域の意見を基に、文化祭等の事業を実施し、地域間の交流を図っている。</li> <li>・利用者アンケートの結果、総合的な満足度として、約97%の方からおおむね満足いただいている。</li> </ul>	A

区分	項目	評価観点	個別の評価	総合評価
Ⅰ 市民の 平等な 利用の 確保	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A	要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A	
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A	
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A	
Ⅱ 管理を 安定して 行う 物的 能力、 財政的 能力及 び 人的 能力の 保有	1 施設管理、安全対策の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A	
		2 備品が適切に管理されているか。	A	
		3 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A	
		4 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A+	
	2 経済的（経営・収支・試算等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A	要求水準
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A	
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A	
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A	
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	
3 災害発生時の対応体制が確立しているか。		A+	要求水準を上回る	

Ⅲ 当該施設の 効用を最大限に 発揮させる能力 及び経費の縮減	1 サービス 向上及び利用者 の増加等、 施設の効用を 最大限に発揮 させる取り組 み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	要求水準
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A	
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A+	要求水準を上回る
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないように、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。（研修計画は適切であったか。）	A	要求水準
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫等はあるか。	A	
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A	
	2 管理運営 経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	
		2 収入-収支がプラスになっているか。	A	
		3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	A	
Ⅳ 施設の 利用 状況	1 施設の利 用実績	1 施設利用者延べ人数	A	要求水準
		2 施設利用者一日平均人数	A	
Ⅴ 個 別 事 項	1 生涯学習 活動の普及	1 地域との連携を十分に図れるか	A+	要求水準を上回る
		2 利用団体間の調整を積極的に行えるか	A+	要求水準
		3 地域の要望を踏まえた事業を実施できるか	A	

評価段階：A+～C	A+（要求水準を上回る）の数	5
※要求水準とは、 協定書・仕様書及 び事業計画書にお いて求める運営管 理の水準。	A（要求水準と同等）の数	28
	B（要求水準だが一部課題がある）の数	0
	C（要求水準に至らない）の数	0